

2023年度重点目標の達成に関する評価と今後の課題

1、 目標に対する成果と足りなかったこと

- ① 「社会の中で主体的に行動する子ども」の育ちを見守る立場として、前年度の目標であった「自らが主体的に学び・積極的に業務に取り組む」ことを実践できていたかを振り返り、各人が足りなかったところ、伸ばしていきたいところを把握して勤務に反映させます。
- ・ 2022年度園内研修「子どもの言葉表現を通して職員がどう関わるか」の実践し、その反省を踏まえ個々のスキルアップに努めます
 - ・ 個々の足りないところ振り返り、自主研修にとりいれ、それぞれが質の高い保育の実現に取り組みます

| | |
|-------|---|
| 進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 園内研修を取り組みながら、人権を中心に話し合い、その中で子どもが主体的に活動できる取り組みはどのようなことなのか話し合う ・ 自主研修で学んだことを会議の中で発表し、研修に参加していない職員共に共通の理解し、学びを深めた |
| 予定と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修は、学んだことをどう活かしているかが重要であるため、実践に個人差がでている ・ まだ職員主導での保育がみられる。子どもの主体性を引き出す声のかけ方を学習する |

- ② コロナウィルス感染拡大防止策や各種社会活動の制限の中で、乳児から幼児に成長している子どもたちの現状を踏まえ、従前の運営から変えなければいけないこと、変えてはいけないことを整理し、新しい運営の形を固めます。
- ・ 子どもを真ん中に置く保育の実現をめざし、健やかな子どもたちの成長を優先し、保育の活動を精査し、運営の見直しを図ります
 - ・ 制限された中でおこなってきた活動を振り返り、当たり前におこなっていた行事も見直し、改善を図っていきます

| | |
|-------|--|
| 進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの制限中で保育行事の見直しを行なった。運動会の2部制や夏まつり、敬老集会等自園で取り組めるやり方を継続しておこなう ・ フロアごとの連携を強め、子どもの自主性が尊重できるよう環境を改善した |
| 予定と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 入職や異動したばかりの職員での組織運営である為、共通の認識に至るまで時間がかかる ・ 園の立場と世間とのコロナの意識が違う為、コロナの規制をどこまで緩和してよいのか、戸惑うところもあった |

- ③ 年度全年度全体短期間で変わる行政のその時々の方針を正しく理解するために、行政との情報連携を徹底し、法人内部では職員間の情報共有を密に行ないます。
- ・ 国や自治体の変更に留意し、法人内で共有し保護者に情報提供をしていきます

| | |
|-------|--|
| 進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害級の暑さや不適切保育を始め、虐待で逮捕される保育の現場の状況から行政も安全管理での保育の運営を注目している。安全対策を毎月見直し、職員だけでなく保護者にも周知し、取り組んだ ・ 園内研修を通し、安全計画について話し合いや見直しが出来た |
| 予定と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 園内研修を掲示し、保護者にみてもらえるように促したが、痔が小さいなど掲示以外の伝達の方法を模索する |

- ④ 各自が各人が運営の担い手であるという自覚を明確に持ち、自身の業務の到着点とその効果について具体的なイメージを持って日々の業務を行なえるよう、計画と実践の連動に対する意識を深めます。

- ・ それぞれが役割を明確にし、得意分野が発揮できるよう年間とおして計画していく。また、足りない事をそのままにせず、一つでも多く達成できるよう努力していきます
- ・ 研修を積極的に参加し、学んだことを実践し、その結果反省し、可視化してステップアップできるよう努めます。

| | |
|-------|--|
| 進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを真ん中に置く保育とは、人権を重視した保育であることから、園内研修でも安全計画と共に子どもが心も体も健やかに成長できる権利を毎月話し合い話し合った事をまとめ、園内に掲示し、保護者にも見てもらうようにした ・ 個々が研修で学べるよう個人の研修の時間を保障する ・ キャリアアップ対象の職員が（非常勤）学べる機会がありよかった |
| 予定と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 常勤職員保育士の数が少ないため、外部研修に参加できる人や時間に制限があり、どのように解決するかが課題 |

⑤ 利用者アンケートを継続的に行い、結果を運営改善に役立てます（毎年）

- ・ 昨年度おこなった第三者評価の結果をもとに、改善すべき点を明確化し、今年度に繋げ、より良い園運営が出来るようにする。
- ・ 利用者アンケートをとり、1年の振り返りを行ない、更なる向上を目指します。

| | |
|-------|--|
| 進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者評価での課題をうけ、風通しの良い保育園となるため、職員ひとり一人が発言できるように会議を改革している ・ 保育所運営委員会を2回行ない保護者からの要望、感想、意見などをもらい、改善点を口頭や書面で知らせる ・ 運営委員会などを通じ、保護者からの意見を集約でき、知らせる事ができ改善できることは早急に改善した |
| 予定と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者対応の面では、新入職員へのクレームがたびたびあがる。早めの対策や対処が必要になることがあった |

⑥ 感染症拡大防止対策と地域子育て支援活動との両立を図り、再開できる活動の内容を見直し、再開が難しい内容に関しては、縮小・代替が可能かどうかの検討を開始します。

- ・ 今年度のコロナの状況をみて、子育て支援活動を工夫しながら計画し、地域の子育て世代に参加できるよう取りくみます
- ・ 今年度も感染症拡大防止を継続していきます。

| | |
|-------|---|
| 進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 園見学や小規模ながら絵本講座子育て支援の活動を取り入れ計画している ・ 手洗いが習慣化され、徹底されている（職員は園内マスク着用。保護者にも園内でのマスクをお願いした） ・ 子育て世代の家庭に園の様子など話をしたり、見てもらう機会があった |
| 予定と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの感染はないが、溶連菌や発熱胃腸炎など感染症に罹りやすい。特に1・2歳児に発熱が繰り返された |

⑦ 長期長前年度から取り組んでいる2023年度からの策定を開始する中期計画（後半）に反映すべき内容を精査し、年度末には策定した計画を職員全体が把握できるよう周知及び説明を十分行います。

- ・ 中期計画を見直し、反映させ計画行使の取り組みを職員に説明し、全職員に周知していきます

| | |
|------|--|
| 進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども主体の保育や保育園の組織の安定、感染症に対する対策、リスクマネジメントの強化、保育方針の確立と保護者への理解 運営の中で見直しを図地域への取り組みや働きやすい（離職しない）環境の提案、中間管理職の育成運営の中で見直しを図る |
|------|--|

| | |
|-----------|--|
| 予定と 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 来年度コロナで計画が延期になり、再度見直して計画していく |
|-----------|--|

2、 a 今年度の保育園の重点目標

- ① 前年度まで進めてきた「子どもの主体性」に対する正しい理解を踏まえ、それを見守る立場としての「職員の主体性に」に対する法人の基本概念に関しても、全職員が正しく理解するよう学習を深め、日々の運営に反映させます。
 - ・ 保育を見守る＝手を出さずに見ている。事に繋がる傾向を改め、ただ見ている事は放任にすぎない等職員の意識改革に努めます
 - ・ 「職員の主体的に」ということはどういうことを意味するのか。職員会議などを通して深めていきます
- ② 「アフターコロナ」の運営を本格化させるため、前年度整理した新しい運営の形をベースにその中で育った子どもたちの現状を正しく把握し、新しい視点での保育や、従来から変更したことによって生まれた課題の克服に取り組みます。
 - ・ 表情が見えない中で保育を受けてきた子どもたちが発達面でどのような影響があるのかを観察していく必要があり、保育の中で細かく確認していく
 - ・ コロナ禍において、行事を見直したことにより今までの当たり前のあり方を修正した。そこで起こる新たな問題点を検証し、子どもたちの権利を大切に活動となるように改定していきます。
- ③ 短期間で変わる行政のその時々の方針を正しく理解するために、行政との情報連携を徹底し、法人内部では職員間の情報共有を密に行ないます（継続）。
 - ・ 大人ファーストにならず、弱い立場の子どもたちが育ちやすい環境になるために行政と連絡を取り合い改善していきます。
 - ・ 新たな行政の打ち出しを確認しながら、即座に対応し、職員に周知していきます。
- ④ 各人の成長が業務の負担感の軽減につながり、更に運営向上につながるという意識を明確に持ち、法人として業務や学習に積極的に取り組み、具体的な成果を自覚できるようなサポートを行ないます。
 - ・ 園内研修等を通し、職員の質の向上を目指します。また外部研修も積極的に参加し、成果を会議などを通じて確認し、学びの場を設けます。
- ⑤ 利用者アンケートを継続的に行い、結果を運営改善に役立てます。（毎年）
 - ・ 運営委員会や保護者アンケート等での意見を反映させ、運営に役立て、子どもたちや保護者と一緒に育てていく環境を整えます。
- ⑥ コロナ禍前まで実施していた地域の子育て支援活動のうち、今までに再開した活動については、より一層の充実を目指します。また、未だ再開できていない部分は廃止する事を前提に内容を確認し、将来的な再開の可否について運営の中で整理します。
 - ・ 子育て支援活動を今後も進めていき、子育てしやすい地域環境を作っていきます。
 - ・ 東嶺町ダイケアセンターと話し、参加を踏まえ交流の仕方を検討していきます。
- ⑦ 2024 年度からの第二次中長期計画を職員全体が把握し、理解して運営できるよう周知及び説明を十分に行います。
 - ・ 中長期計画を職員に周知し、円滑に遂行できるよう計画していきます。

b、目標をどのように達成するのか（年間計画）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------------|----------------------|----|------------------------------------|----|----|----|------|-----|--|----|----|----------|
| 1、職員の主体性の学び | 運営を通して問題点を話し合う | | 子どもを真ん中にした保育に実現に向けて、具体的な例をあげ、確認し合う | | | | 中間総括 | | ・中間総括で上がった問題点を確認し合い、修正し実行する | | | 反省振り返り |
| 2アフターコロナの運営の見直し | コロナ感染の経験をもとに計画 | | コロナ過での保育や行事について昨年の見直しを行ない計画をたてる | | | | 中間総括 | | 体験を総合的に反省し、改善、実践する。やれる工夫をし、新たな計画・実践をおこなう | | | 継続 |
| 3行政との連携 | 行政の動向に注視 | | 福祉社会で見直しをおこない、職員保護者に周知し、実践する | | | | 中間総括 | | 世間の動きに気をつけながら、行政と連携をとり、相互理解のもと運営する | | | 次年度へ振り返り |
| 4職員の意識改革の計画と実践 | 自身の強みを生かし、各自計画を立て立てる | | 園の計画と自己の計画と整合性をみる。 | | | | 中間総括 | | 見直しをしたうえで、再度計画し取り組む | | | 次年度計画 |
| 5利用者アンケート | 保育所運営委員会開催 | | 行事等アンケート集約 | | | | 中間総括 | | 利用者アンケートの実施、結果報告改善点提議 | | | 次年度計画 |
| 6子育て支援、地域活動検討 | 子育て支援計画 | | 計画に沿った支援の計画・実施新たにデイケアセンターとの交流を検討 | | | | 中間総括 | | 地域と連絡をとり、計画を立て実行 | | | 次年度計画 |
| 7中長期計画把握 | 中長期計画をもとに計画策定 | | コロナ禍で進まなかった事柄で計画を新たに見直し、遂行する | | | | 中間総括 | | 立てた計画の見直し、振り返るをおこなう | | | 次年度計画 |

3、施設運営

(1)児童の処遇

ア クラス編成

| クラス名 | 年齢 | 保育士数 | 園児数 | 備考（他の保育士、職名、職員数記入） |
|------|------|------|-----|--|
| にじ | 1歳 | 2 | 10 | 施設長1名 主任、1名 看護師 1名 事務員 1名 フリー保育士3名 非常勤職員7名 保育補助2名 |
| うみ | 2歳 | 2 | 11 | |
| もり | 3歳 | 2 | 13 | |
| そら | 4歳 | 1 | 13 | |
| たいよう | 5歳 | 1 | 13 | |
| 合計 | | 8名 | 60名 | |
| 定期利用 | 1.2歳 | 1名 | 3名 | |

イ 月別保育予定日数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 | 備考 |
|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|
| 25 | 24 | 25 | 26 | 26 | 23 | 294 | |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 27 | 24 | 24 | 23 | 22 | 25 | | |

ウ 健康管理

| 項目 | 対象 | 回数 | 実施月 | 項目 | 対象 | 回数 | 実施月 |
|------|-----|-----|--------|------|-------|-----|------|
| 健康診断 | 全園児 | 年2回 | 5月・10月 | 身体測定 | 全園児 | 月1回 | 第1週目 |
| 歯科検診 | 全園児 | 年2回 | 6月・11月 | 蟻虫検査 | 345歳児 | 年1回 | 6月 |

エ 保育〔各クラスの保育目標〕

| クラス | 年齢 | 年間目標 |
|------|----|---|
| にじ | 1歳 | <ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを尊重し、保育者の援助を受けながら基本的な生活習慣を身につけようとする。 保育者に欲求や甘えをみたくしてもらいながら、愛着関係や信頼関係を築く。 自我の芽生えや自己主張を受け止めながら、自分の思いや考えを様々な表現で伝えたり生活や遊びを通してやり取りを楽しんだりする。 友だちと関わり保育の仲立ちの中で一緒に遊ぶ楽しさを知る。 散歩や戸外遊びを多く、取り入れ、元気で丈夫な身体を作る。 |
| うみ | 2歳 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣（食事・排泄・睡眠・着脱）を自分でしようとする意欲を育て、身につけていく。 保育者との信頼関係を深め、自己主張をし、自分の思いや欲求を言葉で表現しようとする。 遊びの中で、指先をつかったり、体を動かして運動能力を伸ばしたり、音楽・表現活動の楽しさを知り、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 日常生活に必要な言葉がわかるようになり、絵本を楽しんだり、保育者や友だちとの会話のやりとりを楽しむ。 |
| もり | 3歳 | <ul style="list-style-type: none"> 生活の流れや基本的な生活の仕方がわかり、身の周りの事を自分でしようとする。 友だちや保育者に親しみを持ち、友だちと触れ合いながら安心して自分のしたい遊びに取り組む 感じたことや思ったこと、経験したことを様々な方法で自由に表現しようとする。 自然や身近な事象に触れ、興味や関心を持つ。 みんなで食べる楽しさを味わいながら、食事のマナーを身につける。 |
| そら | 4歳 | <ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの決まりを守り、基本的な生活習慣や態度を身につける。 保育者や友だちと一緒に遊びながらつながりを広げ、集団としての行動が出来るようになる。 様々な体験を通して、感じたこと、想像したことを音楽や造形、身体を使うなどの自由な方法で表現する 自然や身近な物事・事象に触れ、興味や関心を深める |
| たいよう | 5歳 | <ul style="list-style-type: none"> 友だちや人との関わりを通して、社会生活に必要なマナーや態度を身につけ仲間といる心地よさを知る。 健康な生活リズムを身に付け友だちと身体を十分に動かし心地よさや楽しさを味わい進んで運動する 絵本などを見たり聞いたりしてイメージを広げ想像し、自分なりにのびのび表現する楽しさを知る 鍵盤ハーモニカに親しみを持ち、友だちと一緒に楽しく演奏する。 生活の中で必要な言葉を身につけ、自分の気持ちを表現するとともに伝わる喜びや伝え合う心地よさを味わう。 自然や身近な事象に興味・関心を深め好奇心、探求心を持ち、生活に取り入れる。 |
| 保健 | | <ul style="list-style-type: none"> 感染症の流行を未然に防ぐよう早期発見に努める。 子どもの安全に気を配り、事故のないようにする。 保護者とともに子どもの身体・病気を考え健康な状態で保育園の生活ができるようにする。 災害・非常事態に備える。 |
| 給食 | | <ul style="list-style-type: none"> 衛生管理の徹底をはかり、安全で楽しい給食を時間内に提供する。 食育を通し、子ども達が食への関心を深められるようにする 保護者や地域に向け食への関心が持てるようにする。 |

[主な行事予定]

| | | | |
|----|---|-----|---|
| 4月 | ・入園日・進級日 ・誕生日会 ・乳幼児保護者会 ・こどもの日の集会 | 10月 | ・運動会 ・お月見 ・秋の健康診断 ・誕生日会 |
| 5月 | ・誕生日会 ・春の健康診断 | 11月 | ・1・2歳児保育参加・面談 ・秋の歯科検診・誕生日会 ・3歳児園外保育 ・恵みに感謝する日 |
| 6月 | ・歯科検診 ・誕生日会 ・4.5歳児園外保育 | 12月 | ・クリスマス会 ・5歳児保護者会・お楽しみ会 ・誕生日会 |
| 7月 | ・プール開き ・七夕 ・誕生日会 ・夏まつり | 1月 | ・お正月集会 ・3歳児保護者会お楽しみ会 ・誕生日会 ・お店屋さんごっこ |
| 8月 | ・スイカわり大会 ・プールの成果 ・誕生日会 | 2月 | ・節分（豆まき） ・誕生日会 ・4歳児保護者会お楽しみ会 ・1・2歳児保護者会 |
| 9月 | ・防災の日（引き取り訓練） ・敬老の日集会 ・誕生日会 ・3.4歳児個人面談 | 3月 | ・ひなまつり会 ・おわかれ散歩（幼児） ・お別れ会（全園児） ・誕生日会 ・卒園式 ・5歳児おわかれ遠足 |

- ・異年齢保育は行事や集会の中で具体化する

オ 栄養管理

| | |
|--------------|--|
| 集団給食施設栄養報告 | 年 2 回 |
| 献立作成上の留意点 | 献立に様々な料理を組み込み季節感のある食材を取り入れる。 乾物・豆類・麦・玄米など取り入れビタミン、ミネラルを充分摂取できる献立を考える 食材の安全性を考慮し、献立・調理法を工夫する 子どもたちと積極的に交流を持ち、調理・献立に反映させる |
| 給食供給者としての諸管理 | ・献立表・栄養出納表・栄養報告書・喫食状況表・検食簿・給食費管理簿・在庫管理簿・給食日誌・食品発注（納入）書・給食だより ・衛生管理点検表・検収の記録簿・給食提供時間と中心温度の記録簿 |

カ 安全管理

| | |
|------------|----------------|
| 交通安全教育 | 5月（北嶺町保育園と一緒に） |
| 非常災害時の避難訓練 | 毎月1回実施 |
| 引き渡し訓練の実施 | 9月1日実施 |
| 安全点検 | 月終わりと避難訓練日に実施 |

キ 食育計画

保育課程の食育の計画を基に、各年齢別・職種別に計画を立て指導計画の中に盛り込む。
昨年取り組んだ内容を更に深めることが出来るように各職員が意識し、「食育」に関わる活動や研修にも積極的に取り組む。また月ごと、期ごとに反省をし、見直し修正も行う。

| 年齢 | 目標 |
|--------|---|
| 6ヶ月未満児 | ・おなかがすき、ミルクを飲みたいとき、飲みたいだけゆったりと飲む ・安定した関係の中で、ミルクを飲み、心地よい生活を送る |
| 6ヶ月から | ・おなかがすき、ミルクを飲み、離乳食を喜んで食べ、心地よい生活を味わう |

| | | |
|------------------|--------|--|
| 1歳3ヵ月未満児 | | ・いろいろな食べ物を見る、触る、味わう経験を通して自分で進んで食べようとする |
| 1歳3ヵ月から 2歳未満児 | | ・おなかですき、食事を喜んで食べ、心地よい生活を味わう ・いろいろな食べ物を見る、触る、味わう経験を通して自分で進んで食べようとする |
| 2歳児 | | ・いろいろな種類の食べ物や料理を味わう。・食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ ・保育者を仲立ちとして、友だちとともに食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう |
| 3歳以上児 | 食と健康 | 食を通じて、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う ・できるだけ多くの種類の食べ物や料理を味わう ・自分の身体に必要な食品の種類や働きに気づき、栄養バランスを考慮した食事を摂ろうとする ・健康、安全など食生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける |
| | 食と人間関係 | 食を通じて、他の人々と親しみ支え合うために、自立心を育て、人とかかわる力を養う ・自分で食事が出来ること、身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう ・さまざまな人々との会食を通して、愛情や信頼感を持つ ・食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける |
| | 食と文化 | 食を通じて、人々が築き、継承してきたさまざまな文化を理解し、つくり出す力を養う ・いろいろな料理に出会い、発見を楽しんだり、考えたりし、さまざまな文化に気づく ・地域で培われた食文化を体験し、郷土への関心を持つ。・食習慣、マナーを身に付ける。 |
| | 命の育ちと食 | 食を通じて、自らも含めたすべてのいのちを大切にする力を養う ・自然の恵みと働く事の大切さを知り、感謝の気持ちを持って食事を味わう ・栽培、飼育、食事などを通して、身近な存在に親しみを持ち、すべてのいのちを大切にすることを ・身近な自然に関わり、世話をしたりする中で、料理との関係を考え、食材に対する感覚を豊かにする |
| | 料理と食 | 食を通じて、素材に目を向け、素材にかかわり、素材を調理することに関心を持つ力を養う ・身近な食材を使って、調理を楽しむ ・食事の準備から後片づけまでの食事作りに自らかかわり、味や盛りつけなどを考えたり、それを生活に取り入れようとする ・食事にふさわしい環境を考えて、ゆとりある落ち着いた雰囲気でする |

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

| 職種 | 人数 | 職種 | 人数 |
|-----|----|----------|----|
| 園長 | 1 | 看護師 | 1 |
| 主任 | 1 | 事務・用務（非） | 3 |
| 保育士 | 10 | 非常勤・パート | 7 |
| 栄養士 | 1 | 嘱託医 | 2 |
| 調理員 | 2 | | |

イ 健康管理

| 項目 | 対象・概要 | 回数 |
|---------|-------------|-----|
| 職員健康診断 | 常勤職員全員 | 年1回 |
| 生活習慣病健診 | 35歳以上常勤職員全員 | |
| 腸内細菌検査 | 調理担当者全員 | 月1回 |

ウ 職員会議 ※「2024年度日程と体制」を参照

| 会議名 | 回数 | 参加者 | 内容 |
|--------|-----|-----------|---|
| 法人経営会議 | 月1回 | 理事長・5園園長 | 月別報告、計画・予算進捗状況 |
| 職員会議 | 月1回 | 全職員 | ・月別報告、計画の協議、園内研修、ケース会議等 ・リスクマネジメント委員会、食育会議、苦情処理事例は月末に入れる |
| リーダー会議 | 月1回 | リーダー・主任 | ・職員会議で決定された案件の具体化、担任クラスからの問題提起 ・行事の企画・反省 |
| 指導職MT | 週1回 | 園長・主任・副主任 | 全週の反省・次週の計画確認 |
| 乳幼児MT | 月1回 | 各クラス・担当 | 保育計画、園児対応についての共通理解 |

| | | | |
|-----------------|-------|-----------------------------|------------------------------|
| クラス MT | 月 1 回 | 各クラス・担当 | 保育計画、園児対応についての共通理解 |
| 法人内看護師 MT | 月 1 回 | 各園看護師 | 各園の感染症の状況、ケガ事故簿等の対応についての情報交換 |
| 法人部署別 年齢別 MT | 年 3 回 | 部署別 MT (主任・副主任参加担当園にて開催) | テーマごとに部署内についての情報交換 |

エ 研修計画

1、(個人・外部研修) 外部研修の参加形式は下表の通りとし、事前の申し出により勤務日を調整する。

個人研修は業務目標の中で計画をたてる。

保育士はリトミックの研修を入れる。(リトミック責任者と共に計画する)

| 種別 | 用件 | 費用負担等 | 備考 |
|------|----------------------|--|------------------------------|
| 承認研修 | 本人の希望の承認による研修 | 研修費は保育士 1 人年度25000円 他職種は10000円まで園が負担 交通費、食事代(500円)の全額を園が負担 | 研修が時間外 休日に当たる場合 研修手当支給 |
| 自主研修 | 各人が希望し、各人の費用負担で受ける研修 | 支給対象外 | |

(園内研修)

月一回の職員会議の中に研修内容を取り入れ、法人合同職員会議で発表する。

その他保育目標の具体化について園内研修を取り入れる。

リトミックは全員出勤日の土曜日責任者を中心に遊戯研修を行う

責任者を中心に年 2 回自園でリトミック研修会を開催する

(四園職員合同研修)

年 2 回(6 月と 11 月)に行う 9 月の研修、は受講希望者や園長から指名者などにより受講(OJT)

・各クラス、給食など計画的に入り指導を行う。

2、キャリアアップ研修

| キャリアアップ研修 該当者名 | 受講済み研修名 | 受講予定研修名 |
|-------------------|---|---------|
| MY | 食育アレルギー対応、障害児保育、保健衛生・安全対策、保護者支援子育て支援、マネジメント | なし |
| KM | 食育アレルギー・乳児保育・保護者支援子育て支援、障害児保育 | 幼児保育 |
| HR | 幼児保育、障害児保育 | 乳児保育 |
| KM | 乳児保育 | 幼児保育 |
| FM | 食育アレルギー対応 | |
| HY | 乳児保育 | |
| TM | 障害児保育 | |
| SM | | 乳児保育 |

オ 福利厚生

・福祉医療機構退職共済度加入・入院見舞金制度実施・大田区勤労者共済加入・職員相互保険加入

- ・職員共済すずかけ会（常勤職員加入）

カ 業務目標、業績評価システム、スケジュールの概略表の通り。
シートの記入を済ませておくこと。

| | |
|-------|-------------|
| ヒヤリング | 4/15～4/19 |
| ヒヤリング | 9/9～9/13 |
| ヒヤリング | 2/4、7、10、13 |

4. 施設管理

| | | | |
|---------|----|---------------|----|
| 会計責任者 | YO | 管理責任者 | YO |
| 出納責任者 | YO | 防火管理者 | KM |
| 内部経理責任者 | KM | 食品衛生責任者 FM | |
| 児童処遇責任 | KM | | |
| 食育活動推進者 | KM | 衛生推進者 | MY |

(1) 事務関係

ア 会計事務・管理事務

- ① 会計基準に基づく会計業務を整備するとともに、北嶺町第二保育園の実情に合わせた「事務手続きマニュアル」を完成し、検証していく。
- ② 保存書類の整理と今後の保存書類縮小の準備をすすめる

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ① 苦情解決制度のあらましについて
大田区オンブズマン制度については分かりやすい場所に掲示する。
- ② 収集した情報は必要な人が必要なときに活用できるよう整理・管理する。
・紙媒体の情報は種類別にファイルされ、タイトルを付け保管する。個人情報保護規定に基づき管理する。
・電子データについては情報管理開始時に、職員全員に説明する
- ③ 給食のアレルギー対応等個人の対応となる園児についての情報を職員間で確認し、間違いがないように対応する。
- ④ 保健記録について、記録の漏れがないようにすることと、個人情報に関わる書類については鍵のかかる書庫を使用し、管理する。

(2) 設備関係

- ア 固定遊具・園庭の点検・・・月1回の安全点検時とクラスが使用する前に必ず遊具確認（主任が責任者）
- イ 消防点検・・・年に2回セコムに依頼
- ウ リフトの点検・・・毎月1回依頼し点検
- エ 冷暖房点検、エアコン・換気扇・室外機・・・年に1回清掃依頼
- オ 床・廊下清掃・厨房清掃・・・年1回
- カ 園庭などの整備を計画的に行う。（樹木、下水溝、地面の整備など）
- キ 修理箇所・・・安全面を配慮し修繕をしていく
- ク 自動ドアの点検・・・年2回
- コ 厨房器具保守点検
- サ 空気清浄機・換気扇・・・年に4回清掃 厨房換気扇は年1回

(3) 備品関係

- ア 備品購入予定
- イ 保育用品購入予定

- ・絵本
- ウ 給食用品購入予定
- エ 固定資産物品購入予定
 - ・砂場カバー 。電子ピアノ

(4) 災害対策

- ア 避難訓練
 - 非常災害対策訓練年間計画表に基づき年12回実施する 9月引き取り訓練
- イ 防災設備の点検委託 年2回セコムに委託
 - 建物設備の点検委託 年1回セコムに委託
- ウ 非常食糧の備蓄
 - (全児童数+全職員数) × 3食 × (3) 日分、飲料水、ビスケット、雑炊など

5. 地域社会との連携

- 保護者が要望する地域の情報を利用しやすい形で提供する（園のしおり等）
 - ・医療機関、公園、関係機関、病児保育室等
- こどもが職員以外と交流できる機会を確保する
 - ①園のポスターで園の様子や行事などへ呼びかける
 - ②日常的な声かけや挨拶は欠かさない
 - ③夏祭りや運動会などの行事をポスターやチラシで、園外児の参加を呼びかける
 - ④地域の町会、商店会、民生・児童委員等交流を深める
 - ⑤職員や園児が地域を知るために、地域見学・交流を行う
 - ⑥児童館や町会や地域の行事の情報提示を保護者に行う
 - ⑦行事などの交流、学校参観、情報交換会等の開催を設定し、小学校との連携を強める
 - ⑧小中高生などの保育体験、地域からのボランティア受け入れをお願いする（近隣中学校・社会福祉協議会との連携）
 - ⑨法人のホームページに園の紹介をする
 - ⑩子育てのノウハウを地域に積極的に提供していく
 - 緊急一時保育、体験保育、子育て・教育相談、施設見学、支援講座

6. 子育て支援活動への取り組み

| 内容 | 目標 | 取り組み方法 |
|-----------|--------------------|------------------------|
| 育児相談・教育相談 | 随時 | 来園、電話等で受け付ける |
| 保育所体験 | 年間20人以上 | 園の掲示版や児童館等に行事の案内等をお願い |
| 緊急一時保育 | 年間の延べ人数 | 園を知ってもらう |
| 世代間交流 | 今年度検討 | お年寄りとの交流会など行事に誘う |
| 小中高生の育児体験 | 年間10日 | 近隣中学校・社会福祉協議会と連携 |
| 保育拠点活動支援 | 年間3人または6人以上 | 受け入れ可能日に保育・調理実習生を受け入れる |
| 子育て支援活動 | 講座年間3回 (5月より随時) | 支援講座を行う 体験保育を行う |

7. 全員出勤の日程・体制等

| 日程 | 子育て支援講座等 | リトミック 13:30 | 職員会議 9:30~12:00 または 14:00~18:00 |
|--------------|---------------------|----------------|--|
| 4/27 (土) | 乳幼児組保護者会 | | 運営の手引き書・ケース会議 園内研修 |
| 5/25 (土) | 保育所運営委員会① | 遊戯 | 運営の手引き書・ケース会議 ※決算・予算の説明 園内研修 |
| 6/29 (土) | | | 運営の手引き書・ケース会議 法人園内研修「外部講師」 |
| 7/27 (土) | 夏まつり | | 運営の手引き書・ケース会議 園内研修 |
| 8/24 (土) | | 遊戯 | 運営の手引き書・ケース会議 園内研修 |
| 9/7 (土) | | | 法人研修(指名) |
| 9/28 (土) | 保育所運営委員会② | | 運営の手引き書・ケース会議 園内研修 法人合同研修会 |
| 10/12 (土) | 運動会(10/20) | | 運営の手引き書・ケース会議 ※中間決算の説明 園内研修 |
| 11/30 (土) | | 遊戯 | 運営の手引き書・ケース会議 法人合同研修 |
| 12/21 (土) | 園内大掃除 | | 運営の手引き書・ケース会議 園内研修・(職員アンケート結果) |
| 1/18 (土) | 保育所運営委員会③ | | 運営の手引き書・ケース会議 園内研修(成果発表まとめ) |
| 2/2 (日) | 法人合同研修成果発表会 | | 五園常勤職員による合同職員会議 (13:45~各園職員会議) |
| 3/1 (土) | オリエンテーション 新入園児面接 | | オリエンテーション・担当別ミーティング (来年度の具体計画・体制決定) |
| 3/22 (土) | 卒園式 | | 新年度準備 |